

第8期 知多北部広域連合介護保険事業計画進捗管理

基本理念 住み慣れた地域で暮らし続けるために

基本目標1 健康づくりと介護予防の推進

- ・総合的な自立支援・介護予防・重度化防止の推進

〔指標〕介護予防

フレイルの割合 (一般高齢者のみ)		第7期	第8期
	目標値		10.4%
	実績値	10.8%	13.5%

フレイル（虚弱）状態にある高齢者を把握し、医療や通いの場、生活支援サービスに適切につなげました。

要支援者を含むフレイルの割合は減少しており、介護予防・日常生活支援総合事業の効果が出ていると推察されます。一方、一般高齢者のみのフレイルの割合は上昇しています。これは、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点で、外出や通いの場への参加を控えた影響が出ていると推察されます。

- ・身近な地域における介護予防の推進

〔指標〕通いの場

通いの場への参加者割合		第7期	第8期
	目標値		15.5%
	実績値	15.2%	15.6%

住民主体による通いの場等の活動や、地域活動組織を支援し、介護予防の地域展開を図りました。

- ・専門職種等を活用した介護予防機能の強化

〔指標〕地域ケア会議

地域ケア会議	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催数 (自立支援型)	目標値		57回	57回	57回
	実績値	39回	59回	90回	74回

地域ケア会議では、医療専門職等多職種の視点を取り入れながら、高齢者の自立支援につながる地域課題解決を目指し、介護予防につなげました。

基本目標 2 地域で支え合う仕組みづくり

・高齢者相談支援センターの体制強化

〔指標〕総合相談

相談実人数	年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	目標値		7,500 人	7,700 人	7,900 人
	実績値	7,304 人	6,762 人	7,232 人	7,625 人

高齢者相談支援センターは、地域に住む高齢者の心身の健康保持増進及び生活安定のため、高齢者の困りごとなどを解決する相談機会を提供しました。

・在宅医療と介護連携の推進

〔指標〕医療・介護関係者の情報共有ツールの活用

登録患者数	年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	目標値		740 人	850 人	960 人
	実績値	628 人	922 人	1,175 人	2,283 人

高齢者が住み慣れた自宅等で住み続けるためには、在宅医療及び介護の円滑な提供が必要です。そのために関係機関の連携体制強化を図り、I C Tを活用して整備した情報共有ツールの更なる利用促進を図りました。

・認知症施策の推進

〔指標〕認知症サポーター

養成件数	年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	目標値		27,600 件	30,200 件	32,800 件
	実績値	25,002 件	30,236 件	52,470 件	56,143 件

認知症になってもその人らしく過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成しました。

・家族介護者への支援

〔指標〕主な介護者が不安に感じる介護

不安に感じていることは特 にないの割合			第 7 期	第 8 期
	目標値			10.3%
	実績値		9.3%	11.4%

家族介護者の心身の負担を軽減する施策を推進しました。また、認知症地域支援・ケア向上事業により、家族介護者同士の交流や介護知識・技術の習得支援等、家族介護者が安心して介護を続けられる環境の整備に努めました。

基本目標 3 自立に向けた介護サービスの安定供給

・介護サービス基盤の整備

施設整備予定

年度	施設種類	整備規模	場所	実施状況
令和3年度	グループホーム	1件18人	東浦町	コロナの影響と地下水プラントの建設工事遅延の為、令和5年12月開所 名称「メドックホーム栄風館」
令和4年度	グループホーム	1件18人	東海市	令和5年4月開所 名称「ルナカーサ」

基盤整備については、高齢者人口、要介護認定者数、世帯構成の変化などを中長期的に検討し、地域の実情に応じたサービスが提供できるように整備を進めました。

・介護人材の確保と資質の向上

〔指標〕介護人材の確保

人材が確保・概ね確保できている率	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値		55.0%	57.0%	60.0%
	実績値	53.8%	55.8%	47.7%	47.4%

〔指標〕人材確保と資質向上に資する研修

研修の回数	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値		2回	2回	2回
	実績値		2回	2回	2回

高齢者が、住み慣れた地域で介護を受けながら暮らし続けるためには、介護サービスを安定的に提供できる基盤が必要です。介護事業所への調査、聞き取り、資質向上等のための研修を実施し、介護従事者が働き続けられるための支援や育成支援を行いました。

令和5年度は「相談・苦情に対する対応、解決策と再発防止策」及び「リスクマネジメント」についてオンデマンド方式による研修を実施しました。

・給付適正化

〔指標〕給付適正化

	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
住宅改修訪問調査件数	目標値		60件	62件	65件
	実績値	54件	7件	7件	65件
福祉用具貸与・購入訪問調査件数	目標値		60件	62件	65件
	実績値	0件	2件	0件	46件
ケアプラン点検数	目標値		490件	520件	550件
	実績値	459件	542件	401件	364件

〔指標〕給付適正化

自立支援・重度化防止を常に意識してケアプランを作成するものの割合		第7期	第8期
	目標値		30.0%
	実績値	25.5%	27.8%

給付適正化事業は、介護予防給付を必要とする受給者を適切に認定し、適切なケアマネジメントにより利用者が真に必要なサービスを見極めた上で、事業者がルールに従ってサービスを提供するよう促す取組です。介護給付の適正化を図ることで、利用者に対する適切な介護サービスが確保されるとともに、限られた資源の効率的・効果的な活用により、持続可能な介護保険制度の構築に資するものです。

・住宅改修等の点検

住宅改修・福祉用具購入・貸与について、利用者の状態に応じて適切な給付となっているか、必要性や利用状況の点検を行いました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着き始めたため、訪問調査を増やすことができました。

なお、広域連合では令和3年度より住環境コーディネーターの資格者を配置し、点検の強化を図っています。

・ケアプラン点検の実施

疑義のあるケアプランを抽出し、指導を行っています。点検を通じて、介護支援専門員とともに利用者にとって、適切なケアプランについて考えました。

・災害・感染症への備え

〔指標〕事業継続計画（BCP）策定事業所割合

	年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
災害	目標値		40.0%	50.0%	60.0%
	実績値	36.1%	37.6%	40.5%	89.0%
感染症	目標値		40.0%	50.0%	60.0%
	実績値	35.4%	43.3%	46.2%	89.6%

災害時や感染症発生時の対応について、事業者があらかじめ検討することを促し、事業所指定時や実地指導時に感染防止対策、避難訓練の実施、災害に対する備えを確認し、地域の防災計画等の理解を促し、関係市町との連携を強化しています。

運営指導時には策定状況について確認をし、早期に計画を策定するよう指導しました。